



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2022年3月7日 No.425

度重なる労働時間不足の発覚！

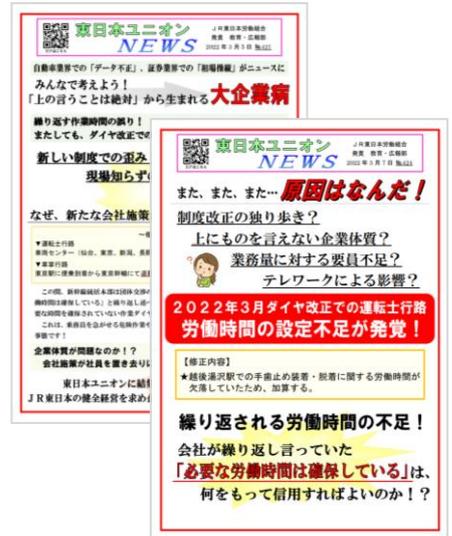
社員への賃金未払いに直結！ 生み出される業務の非効率化！

幹申第4号「2022年3月ダイヤ改正に関する乗務員行路の労働時間不足に関する申し入れ」を提出

私たち東日本ユニオンは、2021年12月23日に新幹線統括本部より「『2022年3月ダイヤ改正』について」の提案を受けました。しかし、その後何度も労働時間が不足していることが判明する事態が発生しています。

これまでの団体交渉で新幹線統括本部は「必要な労働時間は確保している」と繰り返し述べていましたが、実際には労働時間が不足していました。このことは社員への「賃金未払い」に直結する事象であり、赤字下において、会社側が「非効率」な業務を繰り返し発生させています。

東日本ユニオンは繰り返し事象の原因を明らかにさせるとともに、乗務員行路における労働時間（モデル時間）の明確化などを求めて、3月7日、幹申第4号「2022年3月ダイヤ改正に関する乗務員行路の労働時間不足に関する申し入れ」を新幹線統括本部に提出しました。



【幹申第4号 申し入れ項目】

1. 乗務員行路の設定誤りを繰り返した原因について明らかにすること。
2. 今ダイヤ改正で現行の労働時間（モデル時間）が減算されている理由について明らかにすること。
3. 在来線便乗場面で上中里駅到着～東京新幹線車両センターにおける発前点呼までの具体的作業内容および労働時間（モデル時間）を明らかにすること。
4. 大宮駅、高崎駅、越後湯沢駅、ガーラ湯沢駅、新潟駅、新潟新幹線運輸区の折り返し時間を現行のモデル時間から減算した根拠を明らかにすること。
5. この間、団体交渉の席上で「必要な労働時間は確保している」と回答してきた経営側の根拠を明らかにすること。
6. 全ての箇所における「準備時間」「折り返し時間」「整理時間」について明らかにすること。

東日本ユニオンは適正な労働時間の調査・解明を進めます！